



てらるる



2016年
6月
No.822

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp

■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社

■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座 ■ 00190-7-1734

説教 「信仰における耐震構造」

九州ルーテル学院大学チャプレン 黄 大衛

「わたしを『主よ、主よ』と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか。わたしのもとに来て、わたしの言葉を聞き、それを行う人が皆、どんな人に似ているかを示そう。それは、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。洪水になって川の水がその家に押し寄せたが、しっかりと建ててあったので、揺り動かすことができなかった。しかし、聞いても行わない者は、土台なしで地面に家を建てた人に似ている。川の水が押し寄せると、家はたちまち倒れ、その壊れ方がひどかった。」(ルカによる福音書6:46-49)

イエス様は信仰を建築に例えています。特に49節は深く考えさせられる言葉です。「聞いても行わない者は、土台なしで地面に家を建てた人に似ている。川の水が押し寄せると、家はたちまち倒れ、その壊れ方がひどかった」と。この例えからは、イエス様という岩に信仰の家の土台を置けなくなら、たと



え洪水のような意外な挫折を乗り越えられようと教えられます。それは誰もが理解できる教えだと思えます。要するに、土台の重要性が当然だということなのです。

ところで、私は熊本地震を体験して、信仰における挫折を洪水ではなく、地震と繋げて考えてみました。4月14日から、大きな地震が2回起こりました。特に2回目の本震がとても怖かったです。夜中に激しい揺れが10分以上続いたからです。さて翌々日、勤務先に行くところ、被災は家より酷かったのです。本棚が重ねて倒れており、本は山のように散乱し、ドアも開けられないほどでした。学内の噂では、私の部屋

の被災状態はワーストスリーに入っていました。もしこの地震の発生が昼だったら、私はこの危険な場所にいた可能性が高くなり、命を失ったかもしれないかもしれません。夜の被災は私にとっては命拾いとなりました。

その後、学内で復旧対策を相談する時、ある先生がこう言いました。「建物の耐震構造には二つのタイプがあります。一つは揺れないタイプですが、もう一つは揺れるタイプです。5棟の建物の内1棟はその揺れるタイプです。ですから、地震の時揺れることは必ず悪いことではないことを覚えて欲しいのです」と。私はこの言葉を聞いて、建物によつては揺れても、建物を倒さない許容範囲の揺れであるのだと初めて分かりました。確かに、この二つのタイプはいずれも、建物が地震に耐える目的です。でも揺れると、その中にいる者に不安が



仰にそういうものが見られます。一つ挙げれば、3回「イエス様を知らない」と言い切ったことは取り返しのつかない裏切りです。しかしイエス様はあらかじめ彼にそれを知らせていました。しかも引き続きこう言っていました。「あなたたちは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」(ルカ22:32)と。言い換えれば、イエス様はペトロの裏切りを事前に知った上で、容認したのです。しかもただの容認ではなく、ペトロがそれを乗り越えて、立ち直ることすら期待し、更に先を見据えていました。つまり弱さを乗り越えて、聖霊によって大胆に伝道していく強いペトロの姿を、です。

ですから、この御言葉を聞く時、私たちはまず神様の先行した恵みに目を留めましょう。自分の信仰の揺らぎや弱さを嘆くより、むしろそれは既に神様に容認され、支えられていることなのだ、と。そして感謝しましょう。その揺らぎや弱さを経てこそ、他者に届くことができる器とされているのです。このイエス様に信仰の土台を据え、主の僕として仕える歩みを新たにしましょう。

③ 『Sola scriptura』
「Sola scriptura (聖書のみ)」は、ルター神学の中心のひとつです。しかし同時に、ルターが「ヤコブの手紙」を「藁の書」と評し、「この書は、何ら福音的な性質をそなえていない」(石原謙訳『聖書への序言』岩波文庫)と批判したこと、よく知られています。これは、ルター神学と「ヤコブの手紙」の相性があまりよくないことに起因するのでしょうか。けれども、そのようにルターが批判したからといって、ルーテル教会の聖書から「ヤコブの手紙」がなくなったりはしません。このことは、「ヤコブの手紙」を福音的でないと考えた者がいたとしても、そこに記されていることも「みことば」である、ということの意味しています。

第32回 東教区宣教フォーラム

「宗教改革を語る信徒になろう！」
Vol.3 ルターとバイブル

2016.7.20 10:00-18:00

主催：日本福音ルーテル教会 東教区宣教フォーラム

協賛：日本福音ルーテル大連山教会

講師：岩切雄太 (西司教会 八幡教会 佐賀教区 佐賀教区)



議長室から

第27回定期総会が無事

終わりました。予定されていた議案の他に、熊本・大分地区の地震災害に関する報告が加わることになりました。

被害の甚大さから、総会そのものを延期すべきではないかとの声も上がりました。しかし九州教区長、現地の対策本部

催した方が良いとの返答をいただきましたので、開催に踏み切りました。

総会を開催して本当に良かったと感じたのは私だけではないかと思えます。各教会、学校、施設などの被害状況と現地の支援活動について報告

総会で見えた様々な面

総会議長 立山忠浩

していただきました。被災者でありながら支援活動に尽力する現地の皆さんの姿や献身的にディアコニアの精神を實踐する教区内の信徒と教師の働きは、心に響くものがありました。全国の議員がさらなる支援の思いを強く

念事業のすべてが確定しましたので、一同に全体像を説明する最後の機会となりました。後は実行するのみ。皆さんの積極的な参画を願っています。

議案の中には、痛みを伴うものがありました。

会からすれば精一杯の支援を行っているつもりですが、ルーテル学院からすれば我慢を強いられる面があったことは否めません。

最後にりましたが、あと2年間よろしくお願ひいたします。



②ポスト・1995

宮本 新

(田園調布教会牧師、日本ルーテル神学校講師)

4月14日に熊本地方を襲った地震では、現地のLINEやフェイスブックを介した情報発信と共有の速さが特徴的でした。広範な支援活動は社会全体で被災の記憶をつ

たことも本当に嬉しいこととです。繋がりがあふるのは嬉しいことです。いつもボランティアを楽しみに待っています。また来てくださいな。

なげてもいるようでした。

『震災ボランティア』という言葉が生まれたのは1995年のことです。『サリン事件』と『阪神淡路大震災』のあったその年、京都で仏教界や新宗教の指導者らが参集したシンポジウムがあり

公共圏からの問いかけが目立ち、徐々に従来の宗教のカテゴリーも見直しと変容が迫られています。

ました。著名な宗教学者が「被災地にボランティアの姿はあったが宗教者はいなかった」と述べ、震撼する者、反発する者様々でした。当時、京都教会にいた小泉潤牧師も登壇者のひとりでした。学者や世論が何をいうのであれ、黙々と被災地で働く若者のたちの姿に未来図を見たという先生らしいお話でした。

このような宗教公共論のプロセスでは、別掲の問いかけ④のように宗教の役割や有用性が論じられる際に潜む危うさも問われています。人間(その集団)は本来的な個性があり「共約不可能」な存在でもあるからです。パウロが「十字架のこ



石巻の十三浜とのつながり

プロジェクト3・11
企画委員 久保彩奈
(聖望学園、本郷教会)

聖望学園では石巻市十三浜の「西條さんちのわかめ」の物販支援と、年2回春と夏に西條さん宅でボランティアをしています。聖望学園の生徒にはどのような思いでボランティアに参加してきたのかを、西條

佐藤真愛さん
(聖望学園卒業生)

ボランティアにできることは少ないけれど、行き続けられれば出来ることの可能性が増えることを信じて、卒業までに5回、ボランティアに参加してきました。

被災地に行くことで、震災の恐ろしさ、また震災後に様々な支援が必要と

きく子さんからはルーテル教会救援「となりびと」をはじめ、これまで関わりのあったボランティアに対してコメントを頂きました。

きく子さんからはルーテル教会救援「となりびと」をはじめ、これまで関わりのあったボランティアに対してコメントを頂きました。

震災時からずっと温かい

支援をもらい、本当にありがたく思っています。感謝の気持ちでいっぱいです。今はだいたい落ち着きました。今までは、一緒に作業をしていた人たちが津波により流されてしまったので作業はまだまだ大変です。震災があつたことは大変でしたが、みなさんとの繋がりができたことは嬉しく思っています。

また、ボランティアに来ていたことで、わかめがどうい風になってきたのかを知ってもらえたこと、わかめの美味しい食べ方を知ってもらえたこと、十三浜を知ってもらえ



その他に脳死やES細胞など命の問題から自死問題や貧困格差、また昨今の安保法制や脱原発をめぐる「宗教の役割」が広く議論されています。宗教者自らが問答を繰り返すのではなく、様々な

公共圏からの問いかけ

- ①信仰はどこまで個人・私的な領域に留まりうるのか?
- ②宗教は立場や見解を越えた連帯・共生の共通基盤を示せるか?
- ③社会(共同体)が閉塞感に至るとき、宗教は外に開く力を発揮できるか?
- ④公共性が「みんな」や「わかちあい」の言葉で他を呑み込もうとすると、宗教はそれを防ぐことができるか?



宗教改革500年に向けて ルターの意義を改めて考える

(新シリーズ2・通算49)

ルター研究所 所長 鈴木 浩

今回はルターの子どもの時代に戻って、彼が受けた教育のことを考えてみたい。

ルターは1483年11月10日にアイスレーベンという町で生まれた。父ハンスと母マルガレーテの間に生まれた長男であった(次男だったという異説もあるらしい)。その後、一家はマンズフェルトという町に引っ越していく。

両親はルターが5歳になると、地元小学校に入れた。学校と言っても、日本の「寺子屋」と同じだ。地元の司祭が子どもたちを集めて「読み書き算盤」を教えた。ドイツでは日本ほど「算盤」は普及していなかった。だから、「読み書き算盤」と言うべきか。数年後、父親はルターをマグデブルクという町の学校に入れる。もう少しレベルの高い学びをさせるためである。1年後、ルターはアイゼナハという町の学校に移る。この町には母親の親類縁者が多く

いたようである。「読み書き算盤」と言っても、「読み書き」は母国語以上に、ラテン語の読み書きであった。ルターはこれを徹底的にたたき込まれる。当時のヨーロッパでは学問はラテン語で行われ、教会の礼拝もラテン語であった。

ラテン語の発音は、ほぼ「ローマ字読み」でいいので日本人にも難しくはないが、文法はほとんど「複雑怪奇」だ。「バラ」という言葉は、「ロサ」「バラ」は、「ロサエ」「バラの」「ロサエ」「バラに」「ロサム」「バラを」「ロサー」「バラで」と変化する(以上、単数)。複数は「ロサエ」「主格」「ロサールム」「属格」「ロシス」「与格」「ロサリス」「対格」「ロシー」(奪格)となる。名詞はこのように変化するタイプ。他に、4つの別な変化パターンがある。形容詞も同じように変化する。辛いのには動詞の変化だ。動

詞には5つのタイプの違った変化パターンがあり、それぞれ一つの動詞が、200ほどの形に変化する。不規則動詞でも go, went, gone, going が変化のすべての英語とは大違いだ。

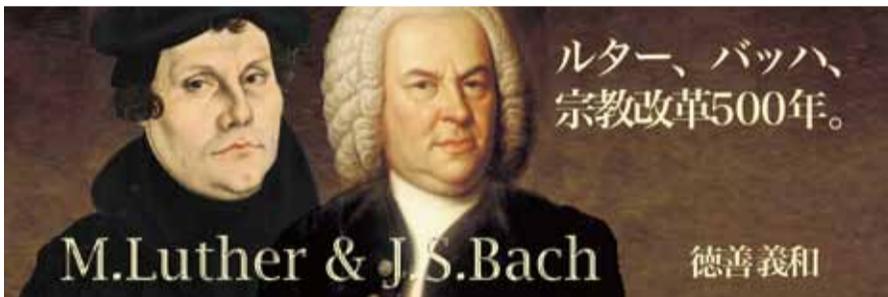
だから、ルターはただひたすら名詞、形容詞、動詞の変化を学ばされた。ラテン語の学びとは、要するに「二に暗記、二に暗記、最後の最後まで暗記・暗記」である。ものの本によると、子どもたちが変化を間違うと、教師はその子どもを鞭で叩いたというから、大変だ。

ルターはそれに耐え、大学に入る頃にはラテン語を完璧にマスターしていた。

今年もやります! ルーテル子ども キャンプ

ルーテル子どもキャンプ
スタッフ 中村沙絵
(千葉教会)

6月に入り、そろそろ夏休みのスケジュールを考え始めるころですね。小学5、6年生、そして保護者のみなさま、ぜひ8月8〜10日は「子どもキャンプ」とカレンダーへ書き込んでください。18回目の今年は、ルーテル広島教会にて行われます。



⑧主を「大きくする」

マグニフィカト

(マリアの賛歌)

ローマ・カトリック教会の信徒研修に東京カテドラルの信徒会館に招かれて、「ルターとマリア」について講演したことがあった。

中世以来マリア崇敬を深めてきたカトリック教会が、第2バチカン公会議『教会憲章』で、「マリアを教会の優れた一人」とした後のことであつた。ルターは「マリア崇敬」は斥けた。しかし福音書に基づき、イエ

スの関わりのある限りにおいて、マリアを「イエスの母」として注目し続けた。

ところでカトリックが「マリアの訪問日」としている5月31日はわれわれの教会暦では関係ないとしても、マリアのエリザベト訪問や、特にそれに続く「マリアの賛歌」はルーテル教会でどう見られ、取り上げられ、注目されているだろうか。

伝統に従って典礼的には「夕の祈り」で「マグニフィカト」が唱えられ、歌われることもあるが、その「夕の祈り」が守られる例はルーテル教会ではほとんどない。A

のように行われているルーテル子どもキャンプ。1999年に開催されたルーテル国際少年少女キャンプから始まり、2006年からルーテル子どもキャンプと名前を変え、平和について学ぶキャンプと外国について学ぶキャンプが毎年交互に行われています。

今年、平和について学びます。「来んさいヒロシマ ピースじゃけん」をキャッチコピーに、全国から集まる小学5、6年生と「平和とは何か?」「平和ではないとは何か?」「聖書では平和についてど

スとの関わりのある限りにおいて、マリアを「イエスの母」として注目し続けた。

ところでカトリックが「マリアの訪問日」としている5月31日はわれわれの教会暦では関係ないとしても、マリアのエリザベト訪問や、特にそれに続く「マリアの賛歌」はルーテル教会でどう見られ、取り上げられ、注目されているだろうか。

伝統に従って典礼的には「夕の祈り」で「マグニフィカト」が唱えられ、歌われることもあるが、その「夕の祈り」が守られる例はルーテル教会ではほとんどない。A

の魂は主を大きくする」



のように行われているルーテル子どもキャンプ。1999年に開催されたルーテル国際少年少女キャンプから始まり、2006年からルーテル子どもキャンプと名前を変え、平和について学ぶキャンプと外国について学ぶキャンプが毎年交互に行われています。

今年、平和について学びます。「来んさいヒロシマ ピースじゃけん」をキャッチコピーに、全国から集まる小学5、6年生と「平和とは何か?」「平和ではないとは何か?」「聖書では平和についてど

のように行われているルーテル子どもキャンプ。1999年に開催されたルーテル国際少年少女キャンプから始まり、2006年からルーテル子どもキャンプと名前を変え、平和について学ぶキャンプと外国について学ぶキャンプが毎年交互に行われています。

今年、平和について学びます。「来んさいヒロシマ ピースじゃけん」をキャッチコピーに、全国から集まる小学5、6年生と「平和とは何か?」「平和ではないとは何か?」「聖書では平和についてど

今年もやります!

平和と愛と、ヒロシマと。

今年もやります!

第18回ルーテル子どもキャンプ
8月8日(月) - 10日(水)

小学5・6年 対象

ルーテル広島教会にて

主催 日本福音ルーテル教会宣教室TNG子ども部門
協賛 ルーテル社団(UELA)

全国教師会 2016年総会報告

前総会期全国教師会会長
永吉秀人

宗教改革500年に備え、変革される全国教師会。2016年5月2日から3日にかけて、全国教師会総会を宣教百年記念会堂にて行いました。課題は宗教改革500年への取り組みについて。第一に、説教集の出版。電子書籍化の要望も出され、安価で実現可能と判断します。第二に、今年の秋に500年への気運

を高める退修会を京都にて予定していましたが、これを見直すこととなる。事実が日本福音ルーテル教会宣教室より提出されました。役員会で協議の上、今総会の議案と致しました。

「2017年11月23日に長崎の浦上天主堂にてカトリック教会(司教協議会)と日本福音ルーテル教会の共同企画として公的に合同礼拝を行うことについて」を上程。500年記念としてふさわしく思いますが、議場では全国教師会の立ち位置を問う厳しい意見が交わされました。というの

は、カトリック司教協議会は「集团的自衛権行使容認の閣議決定についての抗議声明」を、カトリック平和と正義協議会は「安全保障関連法の強行採決への抗議声明」を発してきたのに対し、全国教師会ではこれまで社会問題に対する明確な姿勢を示しておらず、声明も発してこなかったからです。

神学論争や社会問題への取り組みは、分裂や離脱を起しかねない要素を含むため、教師会の慣習として積極的な譲歩によつて強硬派と穏健派の調和を図つてまいりましたが、今総会での協議を

通して、カトリック教会との共同企画の如何を問わず、まずは教師会として社会問題に対する学習と決断を重ねて行く方向性を打ち出し、これを前提としてカトリック教会との共同企画についての採決に臨みました。結果、行うことに可決致しました。

会長の任期満了に伴い、新会長に石居基夫師が選出されました。書記には安井宣生師が再選され、会計には和田憲明師が再推薦されました。加えて4名の委員が推挙され、末竹十大師、内藤新吾師、沼崎勇師、宮本新師が承認されました。

第27回
日本福音ルーテル教会
定期総会 報告

事務局長 白川道生

日本福音ルーテル教会第27回定期総会が5月3日から5日にかけて、日本福音ルーテル教会宣教百年記念東京会堂(東京教会)で開催された。全国各地から参集した教職、信徒を合わせた総会議員は218名を数えた。

熊本地震 支援活動報告

4月14日そして16日に熊本・大分を中心に発生し、熊本・大分を中心として発生し、今なお続く地震災害により、悲しみと嘆き、不安の中にいるお一人お一人に主のお慰めと励ましをお祈りします。

岩切雄太牧師を本部長として発足した「熊本地震日本福音ルーテル教会九州教区救援対策本部」は、自身が被災者でありながら、地震発生直後からそれぞれの地域の方たちに対する支援活動を続けている教会・学校・福祉施設・幼稚園・保育園を応援する

との方針のもと活動を始めました。熊本の言葉でできることをせつこいっばい「を」(びきたし)「う」(わ)「た」(ち)「に」(を)「せ」(い)「い」(っ)「ばい」(や)「つ」(て)「い」(こ)「う」(と)「い」(う)「意」(味)「を」(込)「め」(た)「名」(稱)「を」(合)「言」(葉)「に」(歩)「ん」(で)「い」(ま)「す」(。必要)「な」(支)「援」(活)「動」(と)「全」(国)「の」(教)「会」(と)「つ」(な)「ぐ」(役)「割」(です)。

具体的取り組みとして、①室園教会による済々黌高等学校内避難所支援(終了)、②熊本教会の会堂補修への取り組み他、③大江教会の物資支援、カフェなど、④神水教会の慈愛園利用者への支援、カフェ(終了)、全国からの支援物資基地、⑤健康教会の教会避難所及び近隣避難所へ

の支援があります。また九州ルーテル学院と九州学院では、それぞれに学生たちへの支援、補修への取り組みなどがなされています。そして慈愛園ライトハウスは福祉避難所として、キリスト教児童福祉社も避難所として、それぞれの役割を担っています。関係幼稚園・保育園では子どもたちとその家庭への支援にも取り組んでいます。

それぞれの働きに加えて①片付け支援、そして②NPO法人わかちあいプロジェクトと連携し、広安愛児園・I.E.C.こどもセンター内避難所の支援(炊き出しなど)を担います。以

下のURLより情報を得ることが出来ます。
<https://www.facebook.com/kumaehq/>

JELCでは活動を支援するため、あわせて大きな被害を受けたルーテル教会の建築支援、熊本県内ルーテル教会の建物補修支援。



避難所となっている健康教会。2016.4.28撮影。

◆「熊本地震支援募金の案内」
①地域生活支援できたしルーテルによる被災者の地域生活支援活動費用に充当。
②被害を受けたルーテル教会の建築支援。熊本県内ルーテル教会の建物補修支援。

◆役員選挙
執行部4役には、総会議長に立山忠浩牧師、副議長に大柴讓治牧師、書記に白川道生牧師、会計に豊島義敬さんがいずれも再選された。加えて信徒選出議員が選出され、

◆宗教研修500年記念事業
白川宣教室長より、2017年に向けて取り組まれた「推奨4冊の出版を通じた活学運動の展開」や「パナーキャンペーン企画」等に関する進捗報告がなされた。教会が教会のために行う祝祭イベントとせずに「宗教改革の発見を現代に活用する」と、理念を定めて展開する姿勢が強調された。

◆決算報告及び予算
豊島会計より、26期の全体教会財政と諸部門の財務状況に関する決算、木村財務委員長から、予測される課題と対応を見込んだ予算提案がなされた。審議では、減少する教会財務状況への対処を巡って審議がなされた後、財務関連提案は承認された。

※ルーテルアワー・マあなたの部屋より、紙面の都合によりお休みします。